

水素利活用に向けた取り組み

2019年3月26日



Shaping a New Journey



**KANSAI
AIRPORTS**

関西3空港を一体運営



関西エアポート株式会社は、「関西エアポート神戸株式会社」を設立し、2018年4月1日から神戸空港（KOBE）の運営を開始しました。

関西国際空港（KIX）、大阪国際空港（ITAMI）と併せて3空港を一体運用する空港システムを構築し、関西全体の航空輸送需要の拡大に応じていく環境を整え、今後も関西経済の発展に貢献していきます。



水素利活用に向けた取り組み

世界最高水準の「環境先進空港」をめざし、水素の利活用施策を推進

2025年度：大阪・関西万博が開催
「いのち輝く未来社会のデザイン」



2019年度：ITAMIに水素ステーションがOPEN予定

● 2015年度：KIXで水素ステーションが運営開始・日本初の商用FCFLがKAPで運用開始

● 2014年度～：国際貨物地区でのFCFL実証運用開始

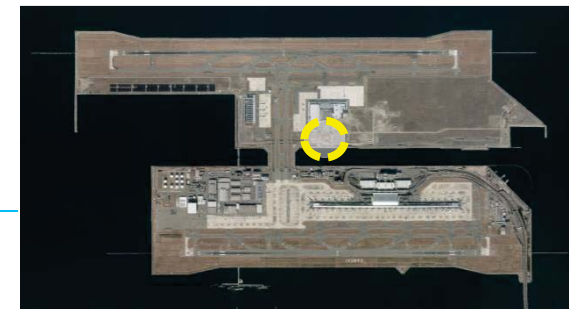
● 2013年度：KIXで水素グリッドプロジェクト始動

産、学、官の連携

- ・「H2Osakaビジョン推進会議」に参加
- ・「国際戦略総合特区」に指定（KIX）

イワタニ水素ステーション 関西国際空港

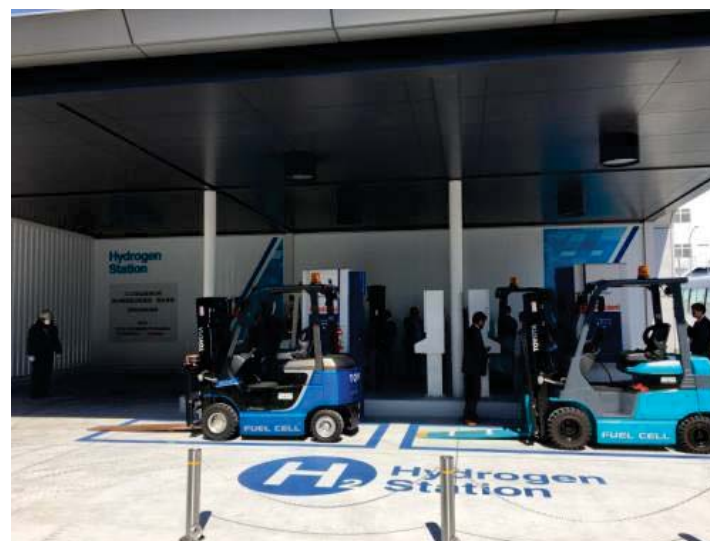
2016年1月29日オープン



関西国際空港 産業車両用水素インフラ



2017年4月11日 オープン



進捗状況

①水素ステーション整備 と FCバス導入

- KIXのステーションは整備済（2016年1月29日）
- ITAMIのステーションは整備済（2019年4月～）
- FCVはKAPグループのみ（KIX 2台、ITAMI 1台）
- FCバスは未導入（試乗会イベントを実施）

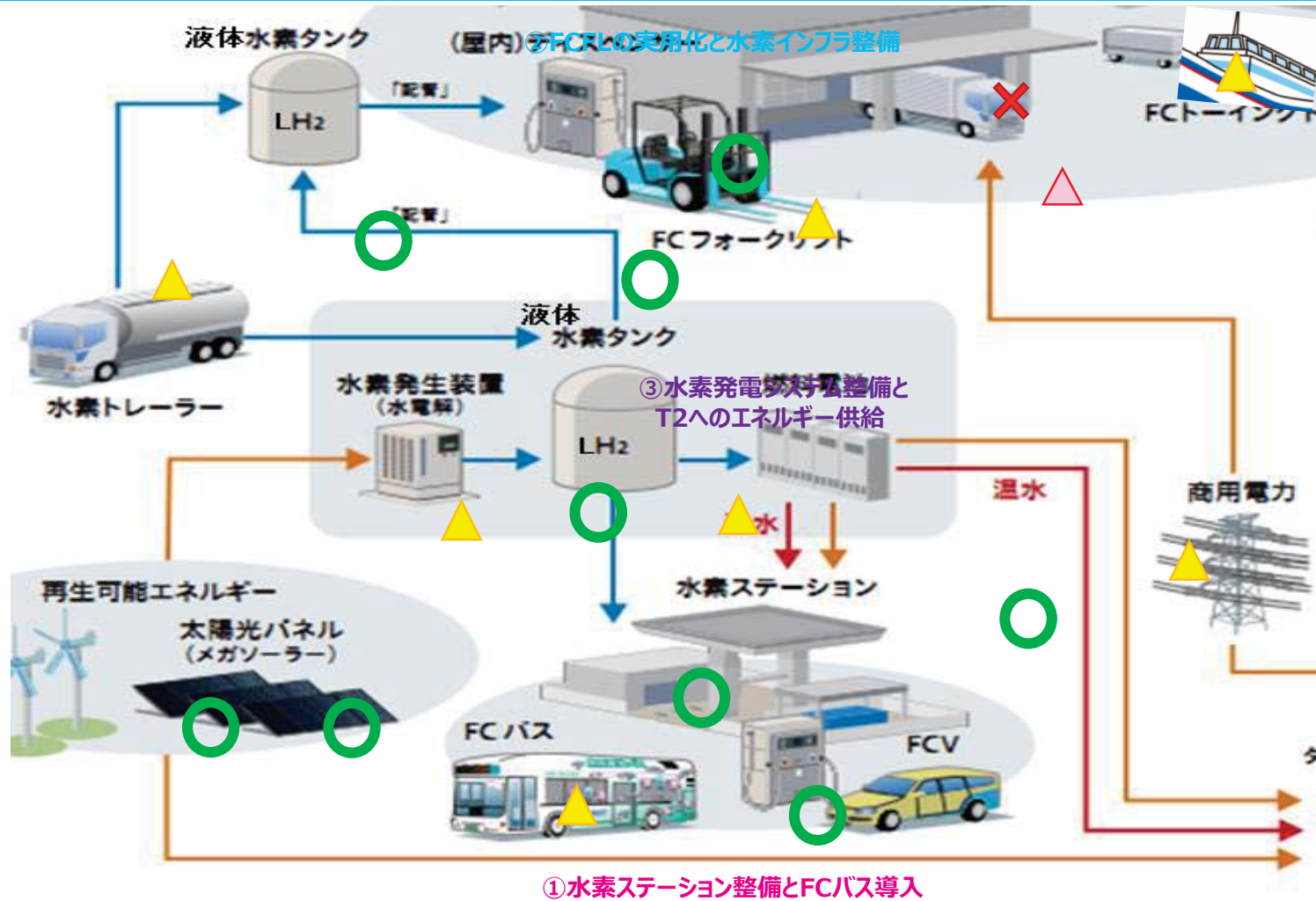
②FCFLの実用化 と 水素インフラ整備

- 水素充填設備は整備済（2017年4月11日）
- FCFL導入はKAPグループのみ（今年度3⇒7台）
- 台風被害により、バックアップインフラは撤去予定



水素グリッドプロジェクト

- : 運用中
- ▲ : 未導入
- △ : 開発中
- ✕ : 未開発



KIX水素プロジェクトを取り巻くステークホルダー



行動計画の再構築

主要なステークホルダーとの協力関係は、
行動計画を再構築して方向転換させる時期にきている。

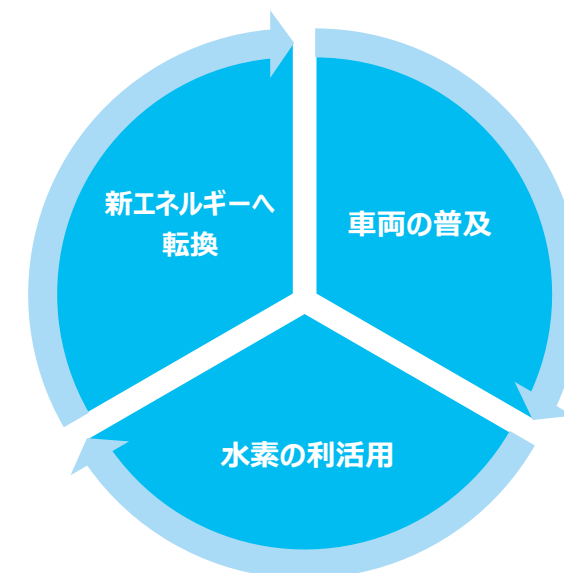
インフラ整備



燃料電池車の
普及促進

〈水素事業促進施策〉

1. インフラ施設の更なる構築
2. 車両購入による水素の使用

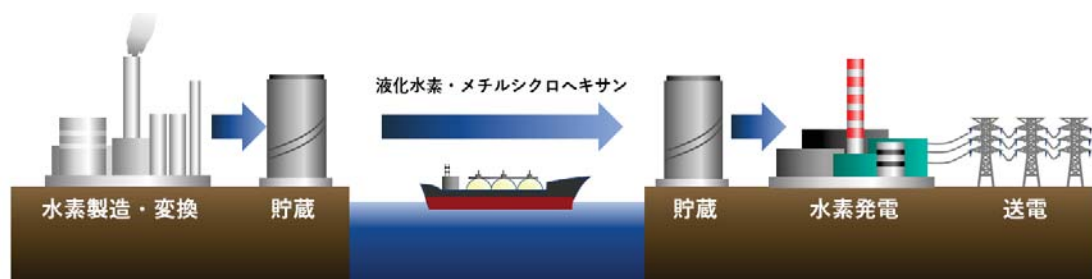


インフラ施設の更なる構築

1. FCV

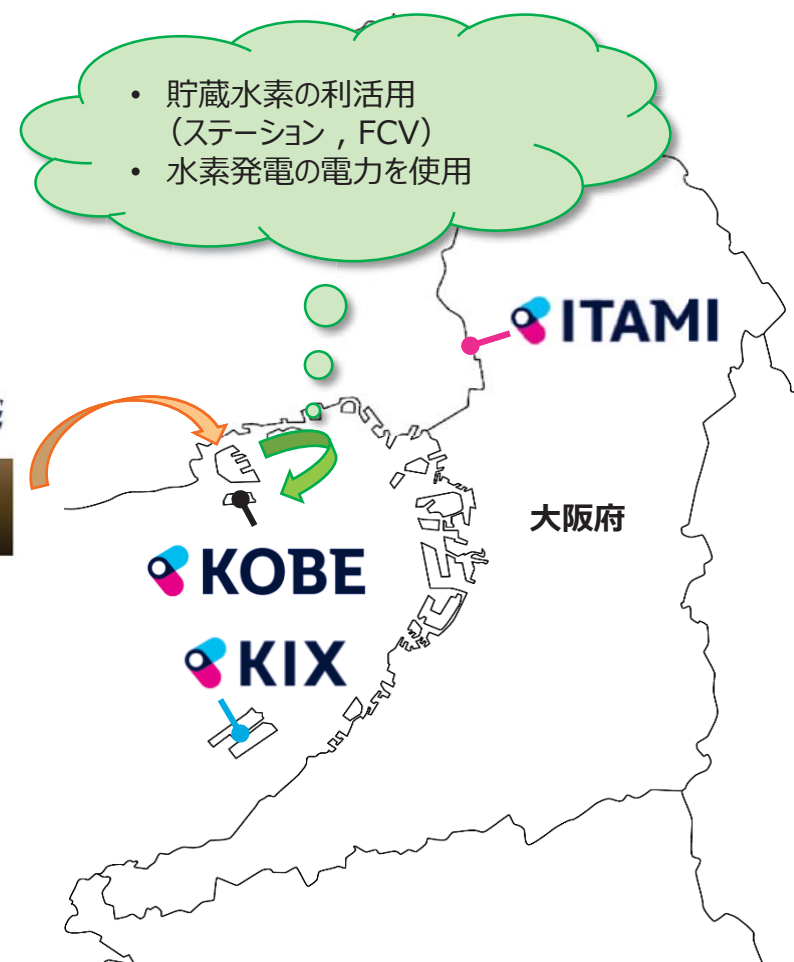
KIX and ITAMI :整備済

Next ➡ KOBE



オーストラリア等

日本のポートアイランド



2. FCFL

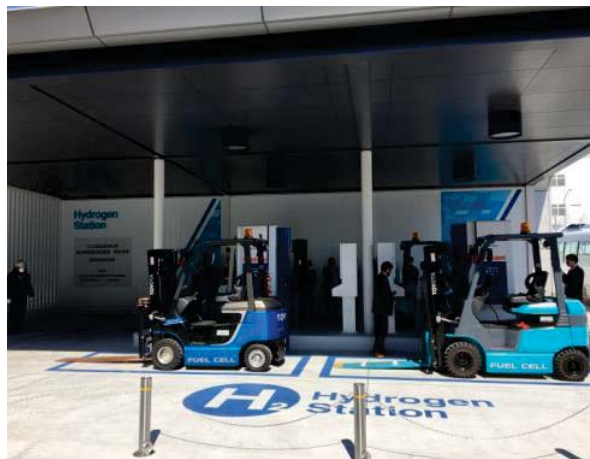
KIX 国際貨物輸入エリア:整備済 (実証施設)

Next ➡ 輸出エリアと国内貨物エリア

車両の導入

<FC車両>

- フォークリフト
- バス (new)
- 乗用車



- FCFLの更新を促進
 - ➡ 排気ガス・臭いなし、充填時間のストレスなし
- FCバスを新規導入
- 社用車を順次更新
 - ➡ + 環境PR効果が高い。乗り心地がよい

水素利活用の課題

➤インフラ施設

安定運用

運用時間の拡大 or セルフ充填

水素燃料費の低減

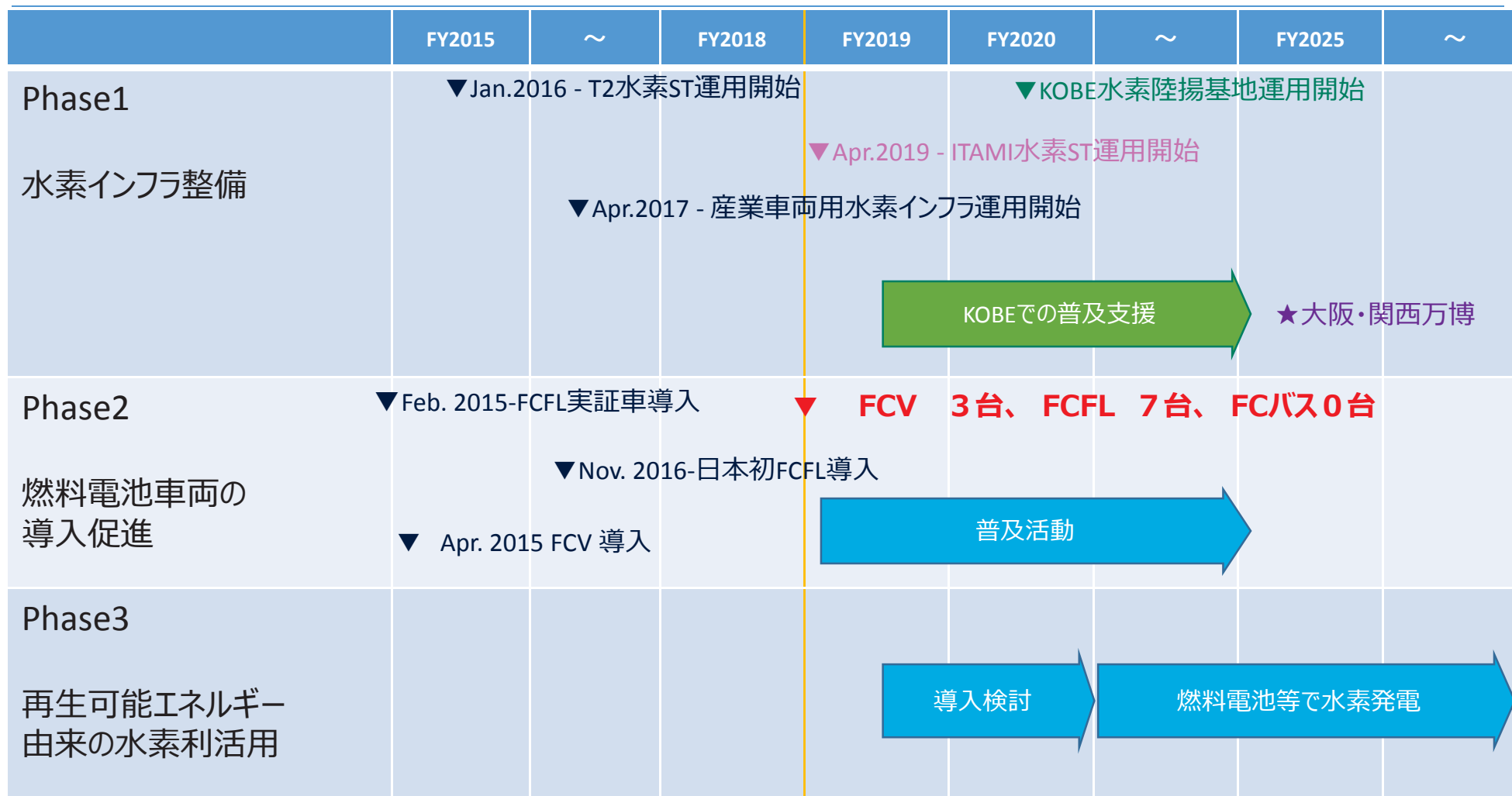
➤車両

購入（リース）費の低減

維持管理費の低減 or 規制緩和（自前修理）

ニーズに合った仕様の多様化

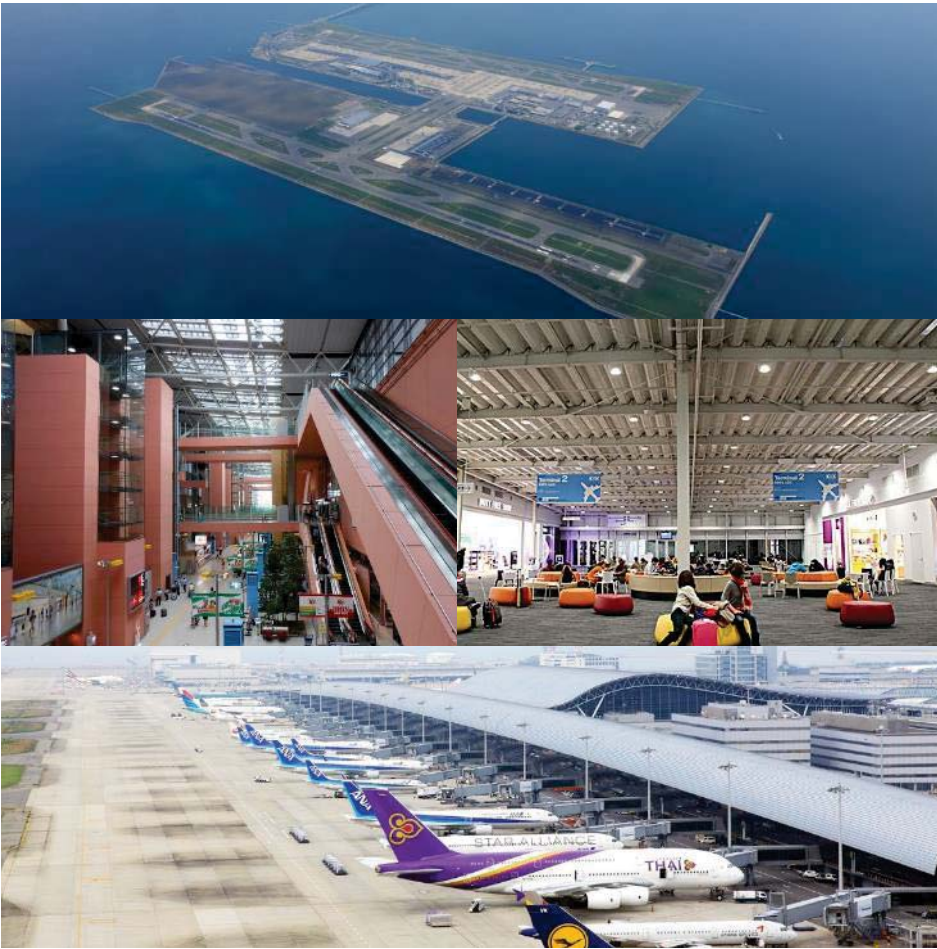
スケジュール



Shaping a new journey!

KIX

Kansai International Airport



Osaka International Airport

ITAMI



Kobe Airport

KOBE





Thank you for your attention!

ご清聴ありがとうございました